

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

多様性の調和を目指す学融合型の人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー：社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は多様な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通科目「学融合型人間開発(TDHD*)入門」及び「実地研修型ゼミナール」を履修する。
*TDHD="Trans-Disciplinary Human Development"

■ 交流プログラムの質の保証

- ①常勤嘱託教員および関連スタッフの公募・新規雇用⇒専任教職員4名による推進体制構築のための採用活動を行い、派遣学生が相談できる体制、および履修アドバイザー(教員)による受入・派遣学生の履修アドバイスなど学習支援の準備を行った。
- ②第6回AIMSレビューミーティングへの参加⇒チェンライ(タイ)で実施されたミーティングに構想責任者が参加し、AIMSに関する情報収集および本学が提供するプログラムの紹介、関係者とのネットワーキングを行った。
- ③プログラム開発協議会の実施⇒教員(SAIMS運営委員会メンバー)および職員が全連携大学(3カ国6大学)を訪問し、受入・派遣に必要な事項の確認、双方のプログラムの質向上のための協議と情報共有を行った。
- ④プログラム担当教員の教授法にかかる開発研究の実施⇒英語コースにおける受入体制整備とプログラム全体の質向上のため、工学科目を担当する理工学部教員1名を英語による学位プログラムに取り組んでいるコーペンハーゲン大学理学部化学科に派遣し、英語による講義の視察および担当教員との情報交換を行った。
- ⑤実地研修型ゼミナールHuman Ecology: Riversにかかる事前調査⇒3月に釧路の実地研修先を訪問。夏期集中ゼミナールのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行う。
- ⑥派遣前ガイダンス・派遣前面談実施準備⇒ガイダンスや面談実施のための日程調整および資料作成を行う。

〈ボゴール農科大学訪問時の様子〉



■ 交流プログラムの内容

ASEAN連携6大学

各連携大学のプログラム、履修科目の確認等

- ◆ インドネシア
ボゴール農科大学(食料科学技術)
ガジャマダ大学(農業、経済学)
- ◆ タイ
チュラロンコーン大学(言語・文化、経済学)
マヒドン大学(国際ビジネス)
- ◆ フィリピン
アテネオ・デ・マニラ大学(言語・文化、経済学、国際ビジネス、工学)
デ・ラサール大学(言語・文化、経済学、国際ビジネス、工学)

派遣
25~40人
←
→
受入
25人

上智大学 (Sophia AIMS)

学融合プログラム

- ◆ 受入・派遣学生共通必修科目「TDHD入門」
- ◆ 専任教員による新設科目6科目
Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development
A Critical Approach to Sustainable City
- ◆ 豊富な選択科目群
【工学】基礎環境科学、応用環境工学など23科目
【言語・文化】Culture & Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど55科目
- ◆ 実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers(選択)
- ◆ Summer Session in Asian Studies(選択)

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

①日本人学生の派遣

チュラロンコーン大学への学生派遣(2014年度秋学期留学)にかかる募集、選考を経て5名を選出。その他5大学についても随時募集・選考中。

②外国人留学生の受入

マヒドン大学(タイ)から1名、アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)から2名の留学生の受入準備を開始。他大学からの応募勧奨中。

注)H25は実績、H26以降は申請時の計画

	H25			H26			H27			H28			H29		
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	I	T	P	I	T	P
学生の派遣	0	0	0	10	8	7	10	9	11	12	11	12	14	13	13
学生の受入	0			25			25			25			25		

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

I:インドネシア T:タイ P:フィリピン

〈釧路湿原: "Rivers" 実習先〉



【受入・派遣共通】

- ・ ASEAN交流オフィスの設置
- ・ 受入学生、派遣学生が共に学べるプログラム構成(TDHD、Human Ecology: "Rivers")
- ・ 情宣用リーフレット(日英)の作成
- ・ 情報提供のためのSAIMSウェブサイトの構築および開
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims/>

【受入学生】

- ・ 英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・ 国際学生寮(祖師谷国際交流会館)での日本人学生および地域住民との交流の企画

【派遣学生】

- ・ 学内での定期的なSAIMS留学説明会の実施
- ・ 学内ポスター、学校サイト、掲示板による情宣活動